

平成28年度

# いばらき輝く教師塾

茨城県教育研修センター

第3日 10月15日(土)

## <講義> 人権尊重の視点に立った学校づくり

### 講義資料



茨城県教育研修センター教職教育課  
指導主事 木村 貴子

#### 【要旨】

- ・人権尊重の理念は、「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めること」である。
- ・学校においては、教科等の指導、生徒指導、学級経営など、その活動全体を通じて、人権尊重の精神に立った学校づくりを進めていかなければならない。
- ・児童生徒・保護者への対応、言語環境、電話・来校者の対応など、学校現場のみならず生活全般にわたって人権に配慮した言動が望まれる。
- ・法務省人権擁護局が示している17の人権課題を確認し、日頃から人権感覚を高めてほしい。

## <講義> 魅力のある輝く学級づくり

### 講義資料



茨城県教育研修センター教職教育課  
指導主事 佐川 和人

#### 【要旨】

- ・学級づくりにおいては、学級経営の意義や内容を理解し、学級経営案を作成することが必要である。
- ・学級経営で特に大事にしたいことは、児童生徒の理解であり、あらゆる機会を捉えて児童生徒一人一人の理解に努めなければならない。
- ・自分の学級内のことであっても、学年主任や他の学級担任と共通理解を図り、連携して学級経営にあたる必要がある。

＜ワークショップ②＞  
人権尊重の視点に立った学校づくり



## ＜ワークショップ③＞ 魅力のある輝く学級づくり



## 塾生のアンケートより

- 人権教育は様々な教育の基盤という言葉が印象に残った。【学生】
- 言葉や環境に配慮し、学校が安心して過ごせる場所にするのが人権教育の土台になると思った。【学生】
- 学級の人権意識を上げていくためには、教師が常に人権意識を持ち続けることが大切だと思った。【若手教員】
- 一人一人に目を向けて児童の変化に気付くこと、変化に気付いたらすぐに声をかけることが学級経営を行う上で大切だと感じた。【学生】
- 学級づくりにおいては、子どもの自主性を尊重しながらも、学級の約束事をしっかりと伝えておくことが大切だと思った。【若手教員】
- 学級経営では、担任としての方針を具体的に定めて、生徒にも意識させていくことが大切だと思った。【若手教員】
- ワークショップでは、同じグループの人たちと深く話し合うことができ、互いの意見を尊重しながら合意形成することができた。【学生】